

## 平成27年 新春講演会並びに賀詞交歓会

総務委員会 児玉 貴司

去る平成27年1月23日(金)、仙台ガーデンパレスにて東北地質調査業協会、一般社団法人全国さく井協会東北支部、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部の3協会合同による恒例の新春講演会及び賀詞交歓会が開催されました。

新春講演会では、講師に一般財団法人広南会広南病院の藤原悟病院長をお迎えし、「誰でも予備軍、増加する脳卒中と認知症 - その解説と予防 -」と題し、高齢化社会の進展に伴い、今後増加が懸念される脳卒中と認知症についてご講演を頂きました。



講演される藤原広南病院長



真剣に聴き入る聴講者

最初に「増加する脳卒中」として、概要解説と予防について、普段は目にすることのない手術中の資料映像を交え、統計資料に基づいた現状の解説と今後の推移に関する見通しが示されました。

脳卒中は死因1位のガンよりも、突然に襲う悲惨さ、を伴い、入院受療率は単一臓器では1位で増加の一途であることが紹介され、食生活も含めた日常の健康管理が予防のポイントであるとして、機知に富んだ詳細な解説を頂きました。

次に「増加する認知症」として、同じく概要解説と予防について、その定義や種類、統計データ、物忘れとの違い等についての説明と提言がなされました。

認知症の予防を考える上でのキーワードが「ライフスタイル」であると示され、その人の生き方、生活様式、習慣などが大きく影響するとの解説に、参加者は一様に大きく肯きながら真剣に聞き入っていました。

引き続いて行われた賀詞交歓会は、近年では最多となる3協会総勢119名が参加し大変な賑わいとなりました。

開会に際し、3協会を代表して当協会理事長の高橋和幸氏が挨拶に立ち、「本会の参加者が昨年比で1割以上増加した。とても活気がある。景気がよい現れではないか。今年は東日本大震災から5年目に入る。一方、平成27年度の国土交通省一般会計予算は昨年度とほぼ同額となりそうである。言い方を変えれば、減らない、とも言うことができる。我々の対応も震災復興から防災・減災へと中身

.....

が変わっていくことだろう。業界として何ができるのか、どう貢献するのかをしっかりと考える1年になる。また、担い手三法改正を受け、我々も地質調査業の魅力を積極的に発信していかなければならない。皆で元気を出して楽しい1年にしよう、との力強いメッセージが発せられました。

続いて社団法人全国さく井協会東北支部長(当協会理事)の大友秀夫氏による乾杯の発声で宴席がスタートしました。

恒例の東北各県から集まった会員による地酒差し入れが宴をさらに盛り上げ、久しぶりの再会に互いの近況を報告しあいながら酒を酌み交わす姿が見られ、大盛況の賀詞交歓会となりました。

締め括りは、社団法人斜面防災対策技術協会東北支部長(当協会副理事長)の奥山和彦氏により、3協会員及びそのご家族の健康と健勝を祈念した手締めを行い、盛会のうちにお開きとなりました。



高橋理事長の挨拶



地酒の差し入れで盛り上がる賀詞交歓会